

小郡市長 平安正知 殿

陳情書 簡保レクセンター跡地（福岡県小郡市三沢）において、レクセンターがあった頃使用されていた施設の用地以外は現況保存し、新たな造成は止めてください。市のマスタープランに跡地を重要な緑地として明記してください。

要旨 地球温暖化で緑の重要性が叫ばれる中、小郡・筑紫野ニュータウンでは開発が進み限界まで緑地が減ってしまいました。人々の憩いの場の公園も計画当初より大幅に削られています。最も大きな公園の役割を果たしていた「簡保レクセンター跡地」の現況保存を私たちは自然保護の立場からお願いしてきました。しかし跡地の約半分（約13万平米・地図の斜線で囲んだ部分）が、商業施設やマンション、住宅地として開発業者に売却されることを新聞で知りました。どうしても売却が必要ならば、少なくとも跡地を周回している散策路や、それに沿った全ての池及び湿地帯を含めた緑地、入り口そばの森林を現況保存してください。新たな造成はやめ、水辺の環境の変化が少ないよう開発地では透水性舗装をしてください。跡地が小郡市内にあることを十分に理解し重要な緑地として位置づけ、環境に配慮したマスタープランを作成してください。



上図：簡保レクセンター跡地（○：西鉄大牟田線の三国ヶ丘駅） 斜線で囲んだ部分：売却予定地
☆印：新九州歴史資料館・建設中 太い破線：資料館へのアクセス道路・建設中 注）図面は公にされておりませんので、おおまかなものです。

理由

1. 小郡市から「箱物は建てず緑地として残して欲しい」との要望があがっていたが、平成16年設置の検討委員会で民間への売却地の線引きが行なわれた。地域住民が最も利用していたのが売却予定地にある散策路。子どもからお年寄りまで坂のない平地の周回路を散策し、それに沿った樹木や池、また入り口そばの森林や草地など自然からの恵みを心身ともに受けてきた。
2. 簡保レクセンター開園時は、小郡市のみならず近隣都市の幼稚園から高校までが遠足などで利用していた。新九州歴史資料館開館後はトイレなど水道設備が使えるため、再び学校が利用できる。「自然を見つめ、自然を学べ」とはノーベル賞受賞者の言葉。血なまぐさい事件の報道が相次ぐすさんだ現代社会の中で、身近な生きものを見つめることで命の大切さなど豊かな心を育むための場としての活用ができる。未来の子どもたちに残すべき市民の財産。
3. 売却予定地の水辺から樹林にかけて様々な環境があることで生物の多様性が保たれている。環境省などが指定する絶滅危惧種も生息している貴重な自然財産。跡地の緑地はこの地域全体のグリーンベルトの一部である。ある学識経験者の試算では、平均的4人家族が1年に排出する二酸化炭素の量を吸収するには、幹の直径20cmの木が50本必要になるという。
4. 小郡市の緑地が減ってしまったなか、跡地には小郡らしい自然環境が残っている。

署名集約先：三国丘陵の自然を楽しむ会 代表 松永紀代子 〒818-0036 筑紫野市光が丘5-5-1 tel 092-920-3072 mikuni@room312.com
小郡連絡先 三木幸雄 〒838-0106 小郡市三沢2947 tel/fax 0942-75-4617

賛同団体：小郡まちづくり協議会、自然と家族の会、(財)日本自然保護協会福岡県自然観察指導員連絡協議会、
日本野鳥の会福岡支部

上記の趣旨に賛同し、署名いたします。

注： 地域及び年齢制限はありません。家族全員の署名が可能です。お子様については保護者の代筆が可能です。
同一住所の場合は//を使用しないで、住所の記入をお願いします。

氏名	住所

署名活動の最中に売却先が決定される恐れもあります。個人情報保護の観点から、皆様の情報は名簿の提出にしか利用いたしません。